

強く、吉野氏の成果をセパレータ事業としてM&Aを軸に世界トップのメーカーとして盤石な地位を構築されました。吉野氏はストックホルムのノーベル賞受賞式の講演で、「これから地球環境に必ずリチウム電池が中心的役割を果たす。」と訴えました。

本年は携帯通信などに高速通信5Gが運用され、自動運転化が実用になりモビリティを取り巻く環境が大きく変化するとともに、工場の生産効率向上や先進医療などにIoTやAIが当たり前に活用される新時代の幕開けになるようです。やはり、アルミ合金材料が産業界の枠組みを超えたる所に応用されていきます。この応用技術にはアルマイトをベースとした表面処理が欠かせません。本研究会の出番です。

本年が本研究会にとりまして、先を見据えた確かな一步となりますよう心から祈念いたし、新年のご挨拶に代えさせていただきます。

## 年頭所感

企画運営委員  
株式会社太洋工作所  
喜多村 康一

新年、あけましておめでとうございます。令和最初の新年を迎えられ、皆様健やかにお過ごしの事と存じます。旧年中は研究会の活動に多大なるご支援・ご協力を賜り誠に有難うございました。誌面をお借りして御礼申し上げます。

昨年は、今上天皇のご即位と令和という新しい時代の幕開け、G20の大坂での開催、初のベスト8へ進出した日本チームの健闘で大いに盛り上がったラグビーワールドカップなど、日本が大いに世界からも注目された一年の様に振り返って感じております。

令和二年の今年は、オリンピック・パラリンピックイヤーという事で、やはりスポーツで盛り上がる一年なのかと思っておりますが、通信分野では5Gが本格的に実用化される5G元年でもあります。

また新たな時代が到来するのでは、期待をしています。

表面処理の分野においてもAIやIoTなどの活用による新たな時代が到来しているもの思います。本研究会では、今年も講演会や見学会、講演大会など会員の皆様に少しでも役立つような行事を企画して参ります。今年も一年間どうぞ、よろしくお願ひいたします。